

百年の森林構想

自治体情報

岡山県西栗倉村

人口 / 1,556人

標準財政規模 / 1,132百万円

担当課 産業観光課

電話番号 代表 0868-79-2111

実施主体 西栗倉村・美作東備森林組合・株式会社トビムシ

関連ホームページ <http://nishiwakura-fan.jp/>

事業期間 平成20年度から

関係施策分類 ③、④、⑤、⑥

予算関連データ

総事業費：50,523千円

名称	所管	金額(千円)
森林整備加速林業再生事業	農林水産省	15,562
美しい森林づくり基盤整備事業交付金	農林水産省	1,336
一般財源	-	33,625

施策のポイント

「百年の森林構想」は、森林の保全管理から施工、間伐材の商品化、プロモーション、西栗倉のファンづくりまで、西栗倉村に関わるすべての人が繋がることによって、持続可能な森林経営を行うとともに、村内外に情報を発信しており、西栗倉村に関わる人々のネットワークづくりを実現している。

施策の概要

1. 取組に至る背景・目的

西栗倉村は、面積の95%が森林であり、そのうち84%は人工林である。50年間守り育ててきた先人のため、これから生きていく子どもたちのため、そしてこの地域に愛着を持ち関わってくださるたくさんの方々のため。その想いを大切にして、立派な百年の森林に育て上げていく、そして、その過程において“小さな地域経済”を興して行こうとすることが取組の背景である。

2. 取組の具体的内容

個人所有の森林を10年間、村で預かり一括管理を行う「長期施業管理協定」を締結するとともに、「FSC認証森林の全村拡大」を併せて実施することで持続可能な森林経営に取り組む。

また、小口出資による「共有の森ファンド」により、外部資金調達と同時に投資家としての活動支援を通して西栗倉ファンづくりを行うとともに、(株)西栗倉・森の学校の起業により、間伐材の有効利用や販売先の開拓を行う。

3. 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

長期施業管理協定の対象森林は、約3,000haであり、年間で間伐300ha、作業道作設10,000mの施業を行い、間伐材10,000m³を搬出することを目標としている。

また、施業及び間伐材の有効利用に伴う(株)西栗倉・森の学校及び林業従事者の雇用の増加や、木工・家具事業者等の起業促進、共有の森ファンド等を通じた西栗倉ファンの創出を行うことも目標としている。

4. 現在までの実績・成果

現在、約900haの管理協定を締結し、協定締結者数は449名となっている。4年間の間伐面積は約800ha、作業道作設延長は37,000m、木材の搬出量は8,000m³となっている。

また、間伐材の加工販売を行う(株)西栗倉・森の学校や、家具などを作る「木工房ようび」の起業などにより、Iターン者は4年間で約50名となっている。

さらに、ファンドの参加者は約420名となっており、村外から村を支援している。本村の先進的な取組みは、メディア等を通じて広く紹介され、全国的にも知名度が大幅に向上した。川上から川下までを村が一括管理し、森林組合、西栗倉・森の学校との協働により計画的な森林整備と木材の運用を行っている。

5. 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

一括管理の必要性について、山林所有者の理解と協力を得ることや事業を実施する上でのスキームの構築が課題であった。そのため、山林所有者への説明会を団地毎に開催するとともに、森林管理のためのITシステム導入や事業に関わる外部人材の募集について村全体として取り組んだ。また、民間企業によるスピードを活かした事業展開と民間の共感を得るためストーリー性を大切にされた。

6. 今後の課題と展開

事業化後の運用段階で当初想定外の問題もあり、柔軟に事業スキームの見直しが必要となっている。森林の10年間の一括管理について、所有者の理解がまだまだ不足しており、面積拡大のための説明が一層求められている。

また、間伐材の利用方法が拡大しているため、間伐施業による安定的な木材搬出が必要であり、今後は、百年の森林構想を基に、さらに環境対策、低炭素社会の構築などを進める。